JVC

B5A-0450-10

JP

準備する

撮影する

再生する

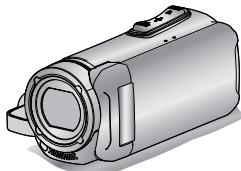
保存する

その他

ビデオカメラ

型名 **GZ-RX500**

基本取扱説明書

保証書付き

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前に、「安全上のご注意」（p. 2）および「使用上のご注意」（p. 44）を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

詳しい取扱方法は「Web ユーザーガイド」をご覧ください

■ **http://manual3.jvckenwood.com/cam/pc/c5b/gz-rx500jp/**

■ **本機内蔵のアプリケーションソフトからもアクセスできます。（p. 29、p. 30）**

スマートユーザーガイド

外出先などからは、スマートフォンで取扱方法をご覧になれます。
（Android 端末、iPhone に標準搭載のブラウザに対応しています）

■ **http://manual3.jvckenwood.com/mobile/jp/**

ユーザー登録について

製品のサポート情報、ソフトウェアのアップデート情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。ぜひご登録ください。

http://www3.jvckenwood.com/reg/

安全上のご注意

ご使用になる方やほかの人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

絵表示の説明

注意、警告が必要なこと	実行して欲しいこと
一般的注意　感電注意	一般的指示

禁止されていること

 禁止　 分解禁止　 ぬれ手禁止

万一異常が発生したときは

- 煙が出ている、異臭がする
- 内部に水や物などが入った
- 落下などにより破損した
- 電源コードが傷んだ

液晶画面を閉じて本機の電源を切る
電源プラグをコンセントから抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。
販売店に修理を依頼してください。
お客様による点検、整備、修理は危険です。

⚠ 危険

「死亡、または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される」内容を示しています。

次のような誤った取り扱いはしない

禁止

- 分解、加工、加熱および火中に入れる
- 高温（60℃以上）になる場所に置く
- 故意に落下させたり、過度な衝撃を与える

・誤った使いかたをすると、発熱、発火、破裂などでけがや火災の原因となります。

- **幼児の手の届くところには置かないでください。**
- **カメラを長期間使わないときは…**

① 30%程度充電された状態（ ▭ ）で保存してください。
② 半年に1 度程度は、満充電→使い切るの操作をし、30%程度充電された状態（ ▭ ）で保存してください。

⚠ 警告

「死亡、または重傷を負うことが想定される」内容を示しています。

禁止 **内部に物を入れない**

・SDカードスロットなどから内部に物が入ると、火災や感電、故障の原因になります。

禁止 **レンズを直射日光などに向けない**

・集光により、内部部品が破損、過熱し、火事や故障の原因になります。

禁止 **乗り物を運転中に使用しない**

・交通事故の原因になります。

分解禁止 **分解・改造をしない**

・火災や感電の原因になります。

禁止 **付属のACアダプター以外は使用しない**

・火災や感電、故障の原因になります。

禁止 **付属のACアダプターを他の機器に使用しない**

・火災や感電、故障の原因になります。

一般的注意 **電源プラグは根元まで確実に差し込む**

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

一般的注意 **電源プラグは抜き差ししやすいコンセントに差し込む**

・本機に異常が発生したときに、ただちに電源プラグが抜けるようにしてください。

禁止 **電源コードを傷つけない**

・傷んだまま使用すると、火災や感電の原因になります。

禁止 **コンセントやＡＣアダプター(電源/ＤＣプラグ)に、ほこりや金属を付着させない**

・ショートや発熱により、火災や感電の原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

・感電の原因になります。

感電注意

雷がなったら、電源プラグには触らない

・感電の原因になります。

一般的指示

ACアダプターや機器を接続するときは、電源を切る

・電源を入れたまま接続すると、感電や故障の原因になります。

一般的注意

本機の付属品、包装などを小さなお子様の手の届くところに置かない

・誤飲や窒息のおそれがあります。

⚠注意

「人が障害を負ったり、物的損害が想定される」内容を示しています。

一般的指示

5年に1度は内部の点検を販売店に依頼する

・湿気の多くなる梅雨期のまえが効果的です。

・水中で使用する場合は、1年に1回の防水パーツの交換をおすすめします(有料)。詳しくは当社サービス窓口にご相談ください。（p. 51）

一般的指示

病院内や飛行機内での使用は、病院、航空会社の指示に従う

・本機の電磁波が計器類に影響するおそれがあります。

一般的指示

グリップベルトをゆるんだまま使用しない

・落下によるけがや故障の原因になります。また、お子様は大人と一緒にお使いください。

一般的指示

三脚を確実に取り付ける

・落下などによるけがや故障を防ぐため、お使いの三脚の説明書をご覧になり、しっかりと取り付けてください。

一般的指示

移動するときは電源プラグや接続コード類をはずす

・コードを傷つけると、火災や感電の原因になります。

一般的指示

使用しないときやお手入れをするときには、電源プラグをはずす

・電源が「切」でも機器に電気が流れています。電源プラグをはずしてください。感電の原因になります。

一般的指示

長時間温度の高い場所を持たない

・低温やけどになるおそれがあります。

・長時間の撮影には三脚をお使いください。

禁止

熱源の近くや可燃性・腐食性のガスのある場所で使わない

・火災や故障の原因になります。

本機の防水/防塵/耐衝撃/耐低温性能について

本機は次の４つの耐性を備えています。

防水性能：水深 5m/30 分以内、JIS 防水保護等級 8 級（IPX8）相当および JIS 防水保護等級 6 級（IPX6）相当

防塵性能：JIS 防塵保護等級 5 級（IP5X）相当

耐衝撃性能：MIL-STD-810F Method 516.5 Shock 準拠

（1.5m の高さから液晶モニター面を内側にして閉じた状態で、3cm 厚の合板上への落下させる社内試験をクリア）

耐低温性能：－10℃～ 40℃の温度範囲で使用可能

※上記はいずれも当社試験基準によるものです。

※上記範囲内の使用における、無破損・無故障を保証するものではありません。とくに、落下等の衝撃による表面のキズやへこみ、その他の外観上の変化は保証の対象外です。また、落下や他のものにぶつけるなどの衝撃を与えた場合、防水性能は保証しません。

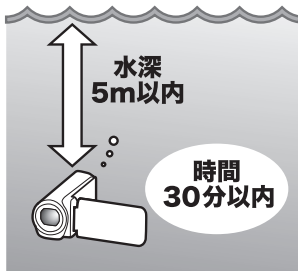
※－10℃～0℃では、一時的に内蔵バッテリーの性能（撮影時間/使用時間）が低下します。

水中で使用するときのご注意

水中や水のかかる場所で使用するときは、以下の点にご注意ください。

端子カバーが確実に閉じていることを確認してください。

- “端子カバーを開ける” (p.12)をご覧ください。
- 端子カバーや防水パッキンが破損していないこと、異物（髪の毛、糸くず、砂、ほこりなど）が付着していないことを確認してください。
- カバー等に破損がある場合は水中での使用をとり止め、販売店または当社サービス窓口にご相談ください。（p. 51）

・水深5m以内、時間30分以内でお使いください。

・水中や水辺での使用中、または手に水滴や砂等がついた状態でカバーの開閉や、SDカード、ケーブル類の抜き差しを行わないでください。
浸水や故障の原因になります。
・急流や滝、水への飛び込みなどの高圧や振動をカメラに与えないでください。
・カメラを落下させたり、その他衝撃を与えたりした場合、防水性能の保証はしかねます。衝撃を与えてしまったら当社サービス窓口にお問い合わせください。（p. 51）
・水中での撮影時は、本機内部の音（ズーム音など）が入りやすくなりますが故障ではありません。
・温泉や40℃以上のお湯につけないでください。防水性能の劣化につながります。
・日焼け止めやサンオイルのついた手でさわらないでください。表面が変色したり、素材が変質したりすることがあります。
・水中で本機は沈みます。水中でカメラを紛失しないよう、グリップベルトをしっかり締めてご使用ください。
・付属品は防水ではありません。
・Wi-Fi機能は水中では使用できません。

水中で使用する際は、「画面ロック」してお使いください

画面ロックは、タッチパネル操作を無効にし、水中での誤動作を防ぎます。
・動画撮影モードと静止画撮影モードで利用できます。
［MENU］から、［撮影設定］→［画面ロック］の順にタッチします。

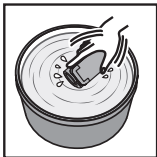
・画面に🔒ボタンが表示されます。
・画面ロック中もSTART/STOP（撮影）ボタンおよびズームレバーは操作できます。
・画面ロックを解除するには、画面上の🔒ボタンをタッチしてください。

使用後のお手入れ

水中やホコリの多い場所で使用した後は、ただちにカメラをきれいな水ですすぎ､完全に乾かしてください。

1. 端子カバーが閉じていることを確認する

2. きれいな水ですすぐ

カメラが完全に浸かる程度の水を入れた容器にカメラを浸し､やさしくすすいでください。

- カメラを海中や海辺で使用した後は、真水に10 分間程度浸して塩分を取り除いたのち、新しく入れかえた水ですすいでください。
- 液晶画面を開閉したり、ボタンやズーム操作を行ったりして、隙間に入っている砂やごみ等を取り除いてください。

3. 乾燥させる

乾いた柔らかい布で完全にふきとり、直射日光の当たらない換気のよい場所で乾燥させてください。

- 液晶モニターを閉じた状態でレンズを下向きにして、約10分間静置してください。（マイクおよび液晶部分の水分が抜けやすくなります。）
  その後は本体を乾いた布の上に通常の状態で置いてください。
  完全に水気がなくなってから、端子カバーを開けてください。
- カバーの裏側に異物や水滴がある場合は完全に拭き取ってください。

※カメラを塩水の中に浸したままにしたり、塩水の水滴がついたままにしたりすると、腐食や変色、防水性能の低下などが発生する可能性があります。
※カメラに砂が付着したまま拭いたり乾燥させたりすると、傷がつく可能性があります。
※薬品や石鹸、中性洗剤、アルコールなどを使っての洗浄は行わないでください。
※ヘアドライヤーやその他の熱源で乾燥させないでください。変形や防水性能が損なわれるおそれがあります。

低温で使用するときのご注意

- 温度が－10℃～ 0℃ではバッテリー性能が一時的に低下し、撮影可能時間が短くなります。
- 温度が10℃以下の環境では充電を行うことはできません。
- カメラが冷えた状態で電源を入れると液晶モニターの性能が低下し、一時的に画面が暗くなったり、残像が残ったりするなどの問題が発生する場合があります。
- 気温が氷点下になる環境でカメラに雪や水滴を付けたままにすると、ボタンやスピーカー、マイクなどの隙間に氷が付着し、ボタン操作がしにくくなったり、音量が下がったりする場合があります。
- 低温下で露出している金属部分に直接触れると、皮膚が貼りついたり凍傷などのけがの原因となります。素手では直接触れないようにしてください。

その他のご注意

- 寒冷地での低温下や、40℃以上の高温(太陽光下や炎天下の車内、暖房機の近くなど）に長時間放置しないでください。防水性能が劣化します。
- 誤った取り扱いで故障した場合は、保証対象外となります。
- 内部への浸水等によってデータが損失した場合、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 防水性能を保つために、１年に1回は防水パーツの交換をおすすめします。当社のサービス窓口にご相談ください。(p.51) (有料）
- ご使用前にWebユーザーガイドを必ずお読みください。

レンズ内側のくもりについて

防水機能付モデルは、気密性が高くなっており、撮影時に温度が上がると、内部の湿度によりレンズ内側が結露することがあります。

■ 撮影するときは

本機の温度を上げないために、以下のような使い方がおすすめです。

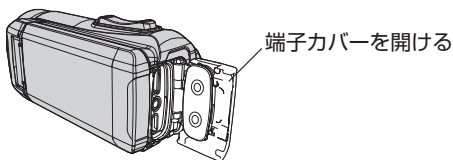
①**なるべく直射日光が当たるのを避けてください。**
日陰での撮影や日傘のご利用、ぬれたタオルで覆う、などが効果的です。
②**三脚のご使用をおすすめします。**
長時間の手持ち撮影では、本機の温度が上がることがあります。
③**端子カバーを開けたままの撮影が効果的です。**
ただし、この状態では防水，防塵，耐衝撃は機能しませんので、ご使用時の環境にご注意ください。（ぬれたタオルは使用しないでください）
④ **撮影時以外は、こまめに電源を切ってください。**
液晶モニターを閉じると電源が切れます。

■ 充電するときは

湿度の低い環境での充電をおすすめします。

本機内部の湿った空気が結露の原因になります。
加湿器を使用していない部屋や、夏期はエアコンを使用している部屋での充電をおすすめします。

■ レンズの内側がくもったときは

温度を下げるために、端子カバーを開けて、液晶モニターを閉じ、しばらくそのままにしてください。

レンズの保護について

本機にはレンズカバーやレンズキャップはありません。
レンズの前面部分は、レンズを保護するための保護ガラスになっています。

- 持ち運びの際は、布製の袋等に入れていただくことをおすすめします。
- 保護ガラスが汚れた場合は、市販のクリーニングクロスなどで拭いてください。

もくじ

はじめに

準備する

撮影する

再生する

保存する

その他

付属品を確かめる

AC アダプター AC-V11※	アダプターケーブル QAM1580-001	USB ケーブル (A タイプ−マイクロ B タイプ)	
HDMI ミニケーブル	フェライトコア(小)(AC アダプター用)	フェライトコア(大)(別売 AV コード用)	基本取扱説明書(本書)

- 付属ソフト(アプリケーションソフト)は、本機に内蔵されています。(p. 29、p. 30)
- フェライトコア(大)は別売の AV コード用です。AV コード以外には使用しないでください。(p. 47)
- フェライトコア(小)は AC アダプター用です。AC アダプター以外には使用しないでください。(p. 47)
- SD カードは別売です。本機で使える SD カードの種類については、p. 17 をご覧ください。

※ AC アダプターは 100V～240V の電圧に対応しています。海外で AC アダプターを使うときは、訪問国や地域に合った市販の変換プラグをご用意ください。

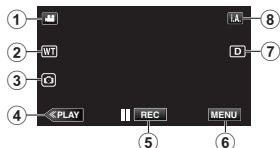
各部のなまえとはたらき

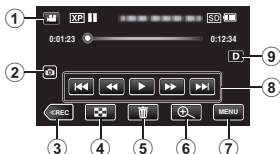
① レンズ
② ライト
③ ステレオマイク
④ 液晶モニター
⑤ CHARGE（充電）ランプ（p. 13）
⑥ POWER/ACCESS（電源/アクセス）ランプ
⑦ ズーム / 音量レバー（p. 15、p. 19）
撮影モードで、ズーム操作を行います。
再生モード（動画）で、再生音量を調整します。
⑧ START/STOP（撮影）ボタン（p. 15、p. 16）
動画撮影モードで、動画の記録および停止を行います。
静止画撮影モードで、シャッター操作を行います。
⑨ 端子カバー（SD カードカバー）（p. 12）
⑩ スピーカー
⑪ グリップベルト（p. 12）
⑫ SD カードスロット（p. 17）
⑬ リセットボタン
本機をリセットするときは、先の細いもので軽く押します。
（撮影データは消去されません）
⑭ HDMI 端子（p. 20）
⑮ AV 端子（p. 20）
⑯ USB 端子（p. 13、p. 23、p. 26、p. 27、p. 29、p. 30、p. 31）
AC アダプターを接続して充電を行います。また、USB ケーブルを用いて外部機器やパソコンと接続します。
⑰ 三脚取り付け穴
⑱ カバーロック（p. 12）

本機の電源の入れかた
- 液晶モニターを開くと電源が入ります。
- 電源を切るときは液晶モニターを閉じてください。（POWER/ACCESS ランプが消えて電源が切れます。）

液晶モニター上のボタンのなまえとはたらき

各モードで表示される画面の例です。タッチパネルとして操作できます。
(p. 11)

撮影画面(動画／静止画)

① 🎥 / 📷(動画/静止画)切換ボタン
② ズームボタン
③ 静止画撮影ボタン
④ 再生モード切換ボタン
再生モードに切り換えます。
⑤ 撮影開始/停止ボタン(p. 15、p. 16)
❚❚ REC 動画撮影開始ボタン
● REC 動画撮影停止ボタン
⑥ メニューボタン(p. 37)
⑦ 画面表示切換ボタン
一部の表示は約3秒間で消えます。(シンプル表示)
ボタンをタッチすると、すべてを表示させることができます。(フル表示)
ボタンをタッチするたびにシンプル表示とフル表示を切り換えることができます。
⑧ i.A. / M(インテリジェントオート/マニュアル)切換ボタン

再生画面(動画)

① 🎥 / 📷(動画/静止画)切換ボタン
② 動画シーン切り出しボタン
一時停止すると表示します。
③ 撮影モード切換ボタン
撮影モードに切り換えます。
④ 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
⑤ 削除ボタン
⑥ 再生ズームボタン
⑦ メニューボタン(p. 37)
⑧ 操作ボタン(p. 19)
⑨ 画面表示切換ボタン

再生画面(静止画)

① 🎥 / 📷(動画/静止画)切換ボタン
② 撮影モード切換ボタン
撮影モードに切り換えます。
③ 一覧表示(サムネイル表示)ボタン
④ 削除ボタン
⑤ 再生ズームボタン
⑥ メニューボタン(p. 37)
⑦ 操作ボタン(p. 19)
⑧ 画面表示切換ボタン

一覧表示(サムネイル表示)

① 🎥 / 📷(動画/静止画)切換ボタン
② ページ送り/戻しボタン
③ 撮影モード切換ボタン
撮影モードに切り換えます。
④ マーク再生ボタン(動画のみ)(p. 36)
マークキングをしたシーンがわかるように再生ができます。
⑤ 削除ボタン
⑥ 再生メディアボタン
SD カードと内蔵メモリーを切り換えます。
⑦ メニューボタン(p. 37)
⑧ 日付ボタン

メニュー画面(撮影モード)

① マナーボタン(p. 37)
② インフォボタン(p. 37)
③ Wi-Fi メニュー(p. 34)
④ セットアップメニュー
⑤ 出力設定メニュー
⑥ 撮影設定メニュー
⑦ 終了ボタン(p. 37)

タッチパネルの使いかた

画面に指で直接タッチして操作できます。「タッチ」と「なぞる」の 2 つの操作方法があります。

A 画面上のボタン(アイコン)やファイル(映像)をタッチして、選択します。

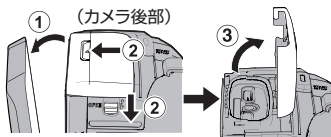
B 画面上のファイル(映像)をなぞって、見たい映像を探します。

- 本機のタッチパネルは圧力を感知するタイプです。スムーズに動かないときは、少し強めに指を押し当てながら操作してください。
- 必要以上に強く押したり、先の鋭い物で操作したりしないでください。
- 2 箇所以上同時に押すと、誤動作の原因になります。
- 画面をタッチしたとき、タッチパネルの反応する位置がずれている場合は、[タッチパネル調整] (p. 40)を行ってください。
- 水中ではタッチパネルは使えません。誤動作を防ぐために[画面ロック]してください(p. 4、p. 39)。

端子カバー（SD カードカバー）を開ける

① 液晶モニターを開く

② カバーロックを下にずらしながら、カバー全体を横にスライドさせる

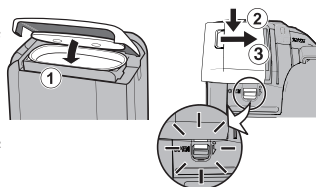
③ ゆっくりとカバーを起こす

■ 閉めるとき

液晶モニターを開いた状態にします。

① 灰色の防水パッキンが端子口に収まるように、ゆっくりと倒して閉じる

② カバー全体を均等な力で本体側に押し付け、完全に密着させる

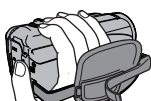
③ カバーを「カチッ」と音がするまでスライドさせる

（カバーロックの赤い印が見えているときは、正しく閉まっていません。）

赤い印が見えていると、
正しく閉まっていません!

ご注意

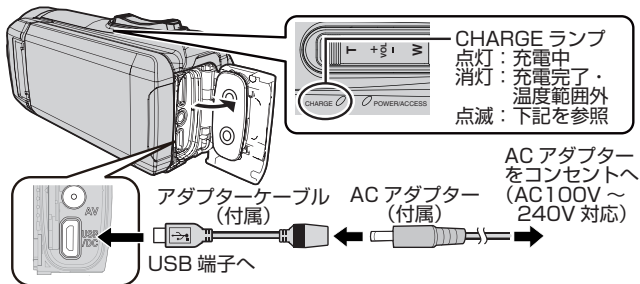
- 端子カバーを開閉するとき、無理な力をかけないようにしてください。
- 水中または水滴がかかる場所で使用する場合は、「水中で使用するときのご注意」(p. 4)をお読みください。

グリップベルトを調節する

① パッドをめくる

② ベルトの長さを調節する

③ パッドをしめる

充電する

本機のバッテリーは内蔵タイプです。
端子カバーを開けて、図のように接続してください。

ご注意

- ご購入時、内蔵バッテリーは充電されていません。
- お買い上げ時、または長時間使用していない場合、通常よりも充電時間が長くなります。バッテリー残量が少ないと電源が入りません。この場合 40 分以上充電してから電源を入れなおしてください。
- 充電時間：約 6 時間 10 分（25℃で充電したとき）
- 室温 10℃ ～ 35℃の範囲外の場所では、充電ができません。充電ができない場合 CHARGE ランプは点灯しません。充電中に温度が上昇または低下した場合、CHARGE ランプがゆっくりと点滅して充電を止めます。その際は、AC アダプターを取り外し、リセットボタン（p. 9）を押してから、上記室温の範囲内でもう一度充電を行ってください。
- 充電中に、本機で撮影や再生を行うことができます。（充電時間は通常より長くかかります。また、条件によってはバッテリー残量が減少することがあります。）本機を使用中に内部温度が上昇した場合、充電を一時的に止めます。（このとき CHARGE ランプは消灯します。）
- 充電中に不具合（過電圧など）が生じた場合、充電が停止します。この場合、CHARGE ランプが速く点滅してお知らせします。
- 十分に充電しても、撮影時間が極端に短くなったときはバッテリーの寿命です。内蔵バッテリーの交換（有償）については、最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。（p. 51）

※ モバイルバッテリーのご使用については「Web ユーザーガイド」をご覧ください。

時計を合わせる

1 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入ります。

2 [時計を合わせてください]が表示されたら[OK]をタッチする

3 日時を設定する

- 年、月、日、時、分の項目をタッチすると、∧ と ∨ が表示されます。∧ または ∨ をタッチして、日時を合わせます。
- この手順を繰り返して年、月、日、時、分を入力します。

4 日時設定が終わったら、[保存]をタッチする

5 お住まいの地域を選び、[保存]をタッチする(設定完了)

- 都市名と世界標準時(グリニッジ標準時)との時差が表示されます。
- <または>をタッチして、都市名を選んでください。(日本国内の場合は「東京」)

時計を合わせ直すときは

[セットアップ]メニューの[時計合わせ]から時計を合わせてください。

① 液晶モニターを開く
- 本機の電源が入ります。

② [MENU]をタッチする

③ [セットアップ]メニューをタッチする

④ [時計合わせ]をタッチする

⑤ [日時設定]をタッチする
- 以降の設定のしかたは、前述の手順 3 〜 5 と同じです。

お知らせ

- バッテリーを使い切った状態で約 1 ヵ月間経過すると、時計がリセットされます。そのため、次回電源を入れたときに[時計を合わせてください]が表示されます。バッテリーを充電してから、時計を再設定してください。(p. 13)

動画を撮る

i.A. インテリジェントオート撮影を使えば、撮影状況に応じて、カメラが明るさやフォーカスなどを自動的に調整します。
※大切な撮影をする前に、試し撮りすることをおすすめします。

1 撮影モードが 🎥 になっているか確認する

- 📷 静止画モードになっているときは、📷 をタッチしたあと、🎥 をタッチして切り換えます。

2 撮影モードが i.A. インテリジェントオートか確認する

- M マニュアルになっているときは、M をタッチしたあと、i.A. をタッチして切り換えます。

3 撮影を開始する

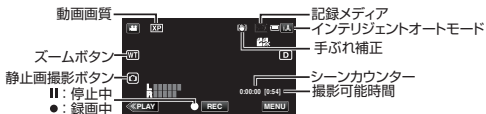
- もう一度押すと、停止します。
- タッチパネルの ❚❚REC ボタンでも撮影できます。停止するときは、●REC ボタンをタッチします。

■ ズームを使う

（望遠側）　ズームレバー　（広角側）

■ 動画撮影中の表示

- 動画画質
- ズームボタン
- 静止画撮影ボタン
- ❚❚：停止中
- ●：録画中
- 記録メディア
- インテリジェントオートモード
- 手ぶれ補正
- シーンカウンター
- 撮影可能時間

XP　SD　i.A.　WT　D　0:00:00 [0:54]　PLAY　REC　MENU

一部の表示は約3秒間で消えます。すべてを表示させるには D 画面表示切換ボタンをタッチします。

お知らせ

- 本体バッテリーを満充電した場合の撮影時間の目安は、約 2 時間 40 分（実撮影時間）です。（p. 41）
- 手ぶれ補正の入/切で画角が変わる場合があります。
- [オートパワーオフ]が[入]のときは、何も操作せずに 5 分経つと、節電のために電源が自動的に切れます。（AC アダプター使用時は待機状態になります。）
- 撮影した動画ファイル一つのサイズは最大で 4GB です。長時間連続で撮影したときにファイルが 4GB を超える場合、複数の動画ファイルに分割して記録します。
- 60p モード（［システムセレクト］を［６０ｐ］）で記録した動画は、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

静止画を撮る

■ **静止画撮影中の表示**

一部の表示は約3秒間で消えます。すべてを表示させるには D 画面表示切換ボタンをタッチします。

■ **ピントを合わせてから撮影するには**

① タッチパネルの ボタンをピントが合うまでタッチし続けます。
• ピントが合うと が緑色に変わります。
② ボタンから指を離すとシャッターが切れます。
※[シャッターモード]で[連写]を選択しているときは利用できません。

■ **動画のシーンを静止画にするとき**

① 動画を再生します。(p. 19)
② お好みの位置で動画の再生を一時停止(❚❚)し、 ボタンをタッチします。
※切り出した静止画は、動画を再生しているメディアに記録されます。

お知らせ

• 液晶モニターは反転させて閉じたまま使用できますが、本機の温度が上がりやすくなります。日光が直接あたる場所や温度が高い環境、または長時間連続でお使いになるときは、液晶モニターを開いたままご使用ください。
• 本機の温度が上がりすぎると回路保護のため、電源が切れることがあります。

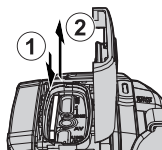
SDカードに記録するには

撮影前に市販のSDカード(2GB〜128GB)を入れてください。
SDカードに記録するには、[メディア設定]が必要です。(p. 18)

■ SDカードを入れる

1 端子カバーを開ける
2 液晶モニターを閉じて本機の電源を切る
3 SDカードを入れる

■ SDカードを取り出すとき

SDカードを一度押し込んでから、まっすぐ引き抜いてください。

- ご使用前に[SDフォーマット]を行ってください。(p. 18)
- SDカードの取り外しは、液晶モニターを閉じてPOWER/ACCESSランプが消灯したことを確認してから行ってください。

お知らせ

次のSDカードで動作を確認しています。

メーカー名	パナソニック(Panasonic)、東芝(TOSHIBA)、サンディスク(SanDisk)
動画	Class 4以上対応のSDカード、SDHCカード、SDXCカード(2 GB〜128 GB) • 画質UXPで撮影するときは、Class6以上の使用をおすすめします。 • プログレッシブ方式(60p)で撮影するときは、Class6以上が必要です。
静止画	SDカード、SDHCカード、SDXCカード(256 MB〜128 GB)

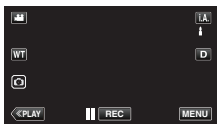
- 上記以外のSDカードでは、正しく記録できなかったり、データが消えたりすることがあります。
- すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。
  SDカードの仕様変更などにより使用できない場合があります。
- miniSDカード、microSDカード(アダプターに入れた場合を含む)を使用しないでください。故障の原因となります。
- 他の機器で撮影、編集したSDカードは、本機での再生、編集動作を保証していません。
- 本機で撮影したSDカードは、他の機器では再生、編集ができない場合があります。
- SDカードの端子部を触らないでください。データが消えることがあります。
- パソコンでSDXCカードを使用する場合は、お使いのパソコンのOSをご確認ください。パソコンのOSの対応状況は、Webユーザーガイドでご確認ください。
- 1枚のSDカードで動画と静止画を記録できます。
- メニューの[シームレス撮影]を[入]にしておくと内蔵メモリーの撮影可能時間がいっぱいになっても、撮影を止めずにSDカードに続けて記録できます。(詳しくは、Webユーザーガイドをご覧ください。)

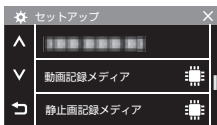
■ [メディア設定]を行う

SD カードを使うときは、記録メディアを[内蔵メモリー]から[ＳＤカード]に切り換えてください。

① 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入ります。

② [MENU]をタッチする

③ [セットアップ]メニューをタッチする

④ [動画記録メディア]または[静止画記録メディア]をタッチする

⑤ [ＳＤカード]をタッチする

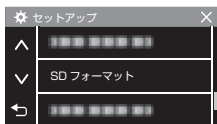
- 設定を終了します。

■ [ＳＤフォーマット]を行う

新品の SD カードや、ほかの機器で使っていた SD カードを本機で初めて使うときは、カードのフォーマット(初期化)を行ってください。

フォーマットすると、SD カード内のデータはすべて消えます。フォーマットする前に、SD カード内のすべてのファイルをパソコンなどにコピーしてください。

① 「[メディア設定]を行う」の手順①〜③を実行する

② [ＳＤフォーマット]をタッチする

③ [ファイル]をタッチする

④ [はい]をタッチする

⑤ フォーマットが終わったら、[ＯＫ]をタッチする

本機で映像を見る/削除する

撮影した動画や静止画を一覧表示(サムネイル表示)から選んで再生します。

1 🎥 または 📷 をタッチして、動画または静止画を選ぶ

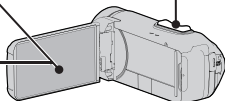
● ズームレバーで再生中の動画の音量を調節できます。(+:大きく、−:小さく)

2 タッチパネルの 《PLAY をタッチして、再生モードにする

＊撮影モードに戻すには、《REC をタッチします。

3 再生するファイル(映像)をタッチする

● 内蔵メモリー/SD をタッチすると再生するメディアが切り換わります。

●最後に再生したファイルには ▶ が表示されます。
再生中に表示されるボタンの操作方法は、下の表をご覧ください。

■ 不要な映像を削除するには

① 🗑をタッチする

② 削除するファイルをタッチする
選んだファイルに ✓が表示されます。
✓ を消すときは、もう一度タッチします。

③ [決定]をタッチする

④ 確認メッセージがでたら、[実行する]をタッチする

⑤ [OK]をタッチする

・ 60p モードと 60i モードで記録した映像は、別々に一覧表示されます。60p モードで撮影した映像を見るときは、動画撮影メニューの [システムセレクト]を[６０ｐ]、60i モードで撮影した映像を見るときは [６０ｉ]に設定してから、再生モードにしてください。(p. 38)

■ 再生中に使える操作ボタン(※)

ボタン	動画再生中	ボタン	静止画再生中
▶ / ❚❚	再生/一時停止	▶ / ❚❚	スライドショー開始/一時停止
⊞	停止(一覧表示に戻る)	⊞	停止(一覧表示に戻る)
▶▶❙	次の動画に進む	▶▶❙	次の静止画に進む
❙◀◀	シーンの先頭に戻る	❙◀◀	前の静止画に戻る
▶▶	早送り	⊕	拡大表示
◀◀	早戻し	-	-
❙▶	一時停止中にコマ送り／ 一時停止中に押し続けるとスロー再生	-	-
◀❙	一時停止中にコマ戻し／ 一時停止中に押し続けると逆スロー再生	-	-
⊕	拡大表示	-	-

※ ボタン表示は自動的に消えます。もう一度表示させるには、画面をタッチしてください。

■ 動画のシーンを静止画にするとき(p. 16)

テレビで映像を見る

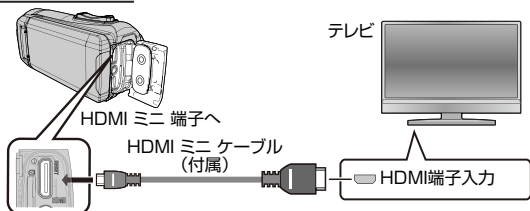
1 テレビに接続する

※ お使いのテレビの取扱説明書もご覧ください。

- 接続する前にテレビの音量を下げてください。また、ビデオカメラとテレビの電源を切ってから接続してください。
- テレビに関する質問や接続方法については、テレビの製造元にお問い合わせください。

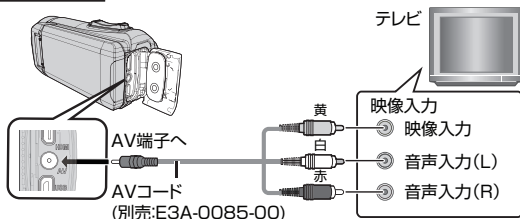
■ ハイビジョン画質で再生するとき

ハイビジョンテレビをお使いの場合は、本機の HDMI ミニ端子に接続するとハイビジョン画質で再生することができます。

HDMI 端子でつなぐ

- 付属の HDMI ミニケーブル以外をお使いになるときは、High Speed HDMI ミニケーブルをお使いください。

■ 標準画質で再生するとき

従来のテレビをお使いの場合は、別売の AV コードを使用すると、標準画質で見ることができます。

AV 端子でつなぐ

2 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入ります。

3 テレビの入力切換を選ぶ

- テレビ側で操作してください。

4 映像を再生する (p. 19)

■ 日時を表示して再生したいときは

動画再生モードで、[再生設定]メニューの[日時表示]を[入]にしてください。また、[出力設定]メニューの[テレビ表示]を[入]にしてください。

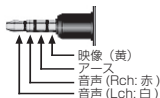
■ テレビの表示が不自然なときは

テレビに正常に表示されない	• ケーブルを抜き差ししてください。 • 本機の電源を入れ直してください。
テレビに縦長に映る	• [出力設定]メニューの[ビデオ出力]を[4：3]に変更してください。
テレビに横長に映る	• テレビ側で画面を調整してください。
不自然な色で映る	• テレビ側で画面を調整してください。

■ 専用 AV コード(別売:E3A-0085-00)について

お買い求めの際は、販売店または最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。(p. 51)

ＡＶコードを使用する前に、本機に付属のフェライトコアを取り付けてください。(p. 47)

専用 AV コード４極ミニプラグ(映像/音声用)の配線仕様は下図のとおりです。

いろいろな保存のしかた

本機は、いろいろな機器とつないでディスク作成や保存ができます。

○:記録/再生できる　△:再生のみできる　—:記録/再生できない

メディアの選択		標準画質	ハイビジョン画質				参照ページ
		DVD (DVD ディスク)	AVCHD (DVD ディスク)	Blu-ray Disc (ブルーレイ ディスク)	HDD (機器内蔵の HDD)	SD (SD カード)	
使用する機器	BD ライター/外付型ブルーレイドライブ	—	—	○	—	—	p. 23
	ブルーレイレコーダー	—	△ ※1	○ ※2	○	—	p. 26
	外付型ハードディスク	—	—	—	○	—	p. 27
	パソコン	○ ※3	○ ※4	○※5	○	—	p. 28
	ビデオカメラ(本機)	—	—	—	—	○	p. 17、p. 32

※1　AVCHD 対応機器のみ

※2　記録時は AVCHD 対応機器のみ

※3　付属ソフトで DVD-Video を作成するときは、追加のソフト(DVD-Video 作成ソフトウェア)をインストールする 必要があります。詳しくは、ピクセラ社のホームページをご覧ください。

http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

※4　パソコンを使ったディスクの作りかたについて、詳しくは付属ソフトのヘルプをご覧ください。

※5　付属ソフトではブルーレイディスクは作成できません。ブルーレイディスクを作成するためには、市販ソフトをお使いください。

お知らせ

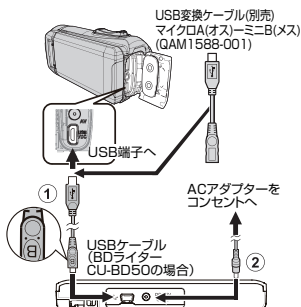
- DVD ライターは使用できません。
- BD ライターまたは外付型ハードディスクの最新情報については、下記のホームページをご覧ください。
  当社:http://www3.jvckenwood.com/dvmain/
- AVCHD は DVD ディスクにハイビジョン画質で保存(記録)します。AVCHD に対応していない機器では再生できませんので、ご注意ください。
- 60p モード([システムセレクト]を[６０ｐ])で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)でディスクを作る

- **BD-R** または **BD-RE** を使用してください。**DVD** や2層ディスク(**DL**)は使用できません。
- バッテリー残量が不足していると、ディスクが作成できません。ディスク作成前に本機を満充電してください。

1 端子カバーを開ける

2 USB ケーブルと BD ライターの AC アダプターを接続する

- 接続する前に液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。
  ① BD ライターに付属の USB ケーブルに別売の USB 変換ケーブルを取り付け、本機と BD ライターを接続する
  ② BD ライターの AC アダプターをつなぐ

- BD ライターの取扱説明書もご覧ください。

※ USB 変換ケーブルをお買い求めの際は、最寄のサービス窓口にお問い合わせください。(p. 51)

3 液晶モニターを開く

- 本機の電源が入り、[動画バックアップ]/[静止画バックアップ]メニューが表示されます。(USB ケーブルをつないでいる間は、[バックアップ]メニューが表示されます。)

4 BD ライターのトレイを開き、新しいディスクを入れる

■ 対応する BD ライター(外付型ブルーレイドライブ)

<当社製>
- CU-BD50

< I-O DATA(アイ・オー・データ機器)製>
- BRD-U8S
- BRD-U8DM

※ BRD-U8S および BRD-U8DM は、生産が完了しています。在庫については、販売店にご確認ください。

※ I-O DATA 製の外付型ブルーレイドライブを使用するには、下記の I-O DATA 社製 USB ケーブル(市販)に、別売の USB 変換ケーブルを取り付けてご使用ください。

- I-O DATA 製:USB-MAB/100
  ミニA(オス)ー B(オス)

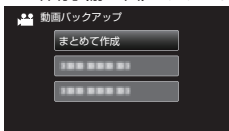
(2014 年 10 月現在)

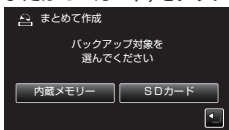
お知らせ

- ディスクに記録できる時間は、撮影のしかたによって変化します。
- 本機に付属のACアダプターをBDライターに接続しないでください。
- BDライターに付属のACアダプターを本機に接続しないでください。

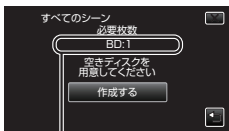
(次ページへ続く)

まとめて保存する

1 [まとめて作成](動画)または[まとめて保存](静止画)をタッチする

- 🎥/📷 をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。

2 保存対象メディア(内蔵メモリーまたは SD カード)をタッチする

3 保存方法をタッチする

すべてのシーン(動画)/画像(静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。
保存していないシーン(動画)/画像(静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

4 [作成する]をタッチする

必要なディスクの枚数

- 静止画の場合は手順7へ進みます。

5 [オート]または[日付単位]をタッチする

[オート]: 撮影日時が近い動画をまとめた見出しにします。
[日付単位]: 撮影日単位でまとめた見出しにします。

6 [作成する]をタッチする

- 「次のディスクを入れてください」と表示されたときは、新しいディスクに入れ換えてください。

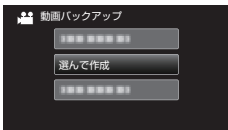
7 "作成しました"が表示されたら、[O K]をタッチする

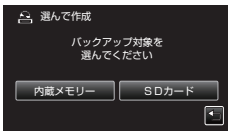
8 本機の液晶モニターを閉じ、POWER/ACCESS ランプが消えたことを確認して USB ケーブルを抜く

お知らせ

- 一度にたくさんの画像を保存する場合、途中でディスクが作成できなくなる場合があります。画像データの容量が大きい場合、複数回に分けて保存してください。
- 作成した BD-R/BD-RE をブルーレイレコーダーなどで再生した場合、お使いの機器によっては、追記禁止の処理を行うことがあります。この場合、ディスクに追記できなくなります。
- 60p モード([システムセレクト]を[6 0 p])で記録した動画を保存したブルーレイディスクは、AVCHD Progressive 対応機器でのみ再生できます。

選んで保存する

1 [選んで作成](動画)または[画像から選ぶ](静止画)をタッチする

- 🎥/📷 をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。

2 保存対象メディア(内蔵メモリーまたは SD カード)をタッチする

3 保存する画像を選ぶ(範囲指定する場合)

① [範囲指定]をタッチする

② 選択する最初の画像をタッチする

- 画像に ✔ が付きます。

③ 最後の画像をタッチする

- 選んだ範囲のすべての画像に ✔ が付きます。
- 範囲指定せずに、ひとつずつタッチして選ぶこともできます。

④ [保存]をタッチする

- 以降の操作のしかたは、前ページの手順 4 〜 8 と同じです。

ご注意

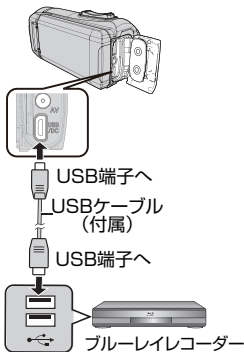
- 保存が終わるまで、電源を切ったり、USB ケーブルを取りはずしたりしないでください。
- ディスク作成中画面で作成を中止すると、書き込み中のディスクが使用できなくなります。
- 動画と静止画は同じディスクに保存できません。
- 再生時に一覧表示されないファイルは、保存できません。また、特殊ファイルも保存できません。

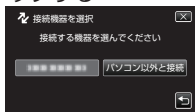
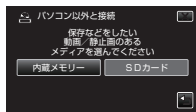
ブルーレイレコーダーにつないでダビングする

バッテリー残量が不足していると、この操作は完了できません。はじめに本機を満充電してください。

1 端子カバーを開ける

2 付属の USB ケーブルでブルーレイレコーダーに接続する

- 接続する前に液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。

3 液晶モニターを開く

4 [パソコン以外と接続]をタッチする

5 保存対象メディアをタッチする

- 画面が切り換わったら、ブルーレイレコーダー側で操作してください。

6 ブルーレイレコーダー側でダビングする

- ブルーレイレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

7 ダビングが終了したら、本機の液晶モニターを閉じ、POWER/ACCESS ランプが消えたことを確認してから USB ケーブルを抜く

お知らせ

- AVCHD 規格対応のブルーレイレコーダーと本機を接続すると、ハイビジョン画質のままダビングできます。ディスクの作り方については、お使いのレコーダーの取扱説明書をご覧ください。
- 60p モード（[システムセレクト]を[６０ｐ]）で記録した動画を保存するときは、AVCHD Progressive 対応のブルーレイレコーダーをお使いください。
- 60p モード（[システムセレクト]を[６０ｐ]）で記録した動画は、ブルーレイディスクにのみ保存できます。
- 推奨および動作確認済みのブルーレイレコーダー以外をお使いの場合は、不具合が発生することがあります。下記のホームページをご覧ください。

http://www3.jvckenwood.com/support/qa/cam.html

外付型ハードディスクに保存する

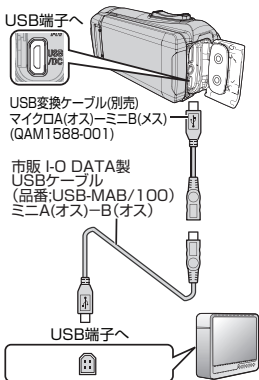
市販の外付型ハードディスク(以下、外付型 HDD)に動画や静止画を保存したり、本機で再生したりできます。

※ 外付型 HDD の取扱説明書もご覧ください。

■ 対応する外付型 HDD

I-O DATA(アイ・オー・データ機器)社の HDJ-U シリーズ、HDCL-UT シリーズなどをお使いください。2TB を超える外付型 HDD は使用できません。(2014 年 10 月現在)

■ 対応する USB ケーブル

- 本機や外付型 HDD に付属の USB ケーブルは使用できません。
- 下記の USB ケーブル(市販)をお買い求めのうえ、別売の USB 変換ケーブルを接続してお使いください。(HDD 側が USB B タイプの場合)
  ※I-O DATA 製:USB-MAB/100 ミニ A(オス)ー B(オス)
  ※USB 変換ケーブルをお買い求めの際は、最寄のサービス窓口にお問い合わせください。(p. 51)

- USB ケーブルを接続する前に、本機と外付型 HDD の電源を切ってください。

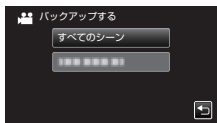
バッテリー残量が不足していると、この操作は完了できません。はじめに本機を満充電してください。

1 液晶モニターを開く

2 [バックアップする]をタッチする

- 🎥/📷 をタッチすると、動画(60i)、動画(60p)、静止画を切り換えることができます。

3 保存対象メディアをタッチする

4 保存方法をタッチする

[すべてのシーン](動画)/
[すべての画像](静止画):
本機内にあるすべての動画、または静止画を保存します。

[保存していないシーン](動画)/
[保存していない画像](静止画):
一度も保存していない動画、または静止画をまとめて保存します。

5 バックアップを開始する

- 空き容量を確認してから、[はい]をタッチする

■ 保存したファイルを再生するには

手順 2 で[再生]を選びます。
外付型 HDD に保存した動画や静止画は本機で再生できます。

パソコンに保存する

パソコンの性能(目安)を確かめる

■ Windows8/Windows8.1 の場合

① "アプリ"を表示します。
(Windows8 の場合)チャームの "検索"をクリックします。
(Windows 8.1 の場合)⬇ をクリックします。

② "アプリ"内の Windows システムツールの「コンピューター」または「PC」を右クリックしてチェックを入れ、下側のバーに表示される「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ Windows 7 / Windows Vista の場合

スタートメニューの「コンピュータ」(Windows Vista)または「コンピューター」(Windows 7)を右クリックし、「プロパティ」を選んで次の項目を確認します。

■ そのほかの条件

ディスプレイ:1024×768 ピクセル以上(1280×1024 ピクセル以上を推奨)
グラフィック:Intel G965 以上を推奨

■ 動画編集

Intel Core i7, CPU 2.53 GHz 以上推奨

Mac コンピューターをお使いのかたは

アップル社の iMovie'11,Version 10 または iPhoto を使って、コンピューターにファイルを取り込めます。

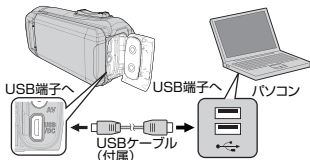
- 操作については、Web ユーザーガイドおよび iMovie、iPhoto のヘルプをお読みください。
- すべてのコンピューター環境での動作を保証するものではありません。

付属ソフト(本機内蔵)をインストールする(Windows 8/Windows 8.1 の場合)

本機の内蔵メモリー内の付属ソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 端子カバーを開く

2 付属の USB ケーブルでパソコンに接続する

- ケーブルを接続する前に、液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。

3 液晶モニターを開いて本機の電源を入れる

■ ビデオカメラのタッチスクリーンでの操作

4 [パソコンと接続]をタッチする

5 [パソコンで見る]をタッチする

■ パソコン上での操作

6 以下の手順をパソコンで実行してください

① "アプリ"を表示する。
(Windows8 の場合)
チャームの "検索"をクリックする。
(Windows 8.1 の場合)
Ⓘ をクリックする。

② "Windows システムツール"の "コンピューター"または "PC" をクリックする。

- デスクトップに "コンピューター"のアイコンがある場合は、そのアイコンをダブルクリックすると、"コンピューター"が開きます。

③ "リムーバブル記憶域があるデバイス"の "JVCCAM_APP"アイコンをダブルクリックする。

④ "install"(または、install.exe) をダブルクリックする。

⑤ ユーザーアカウント制御画面で "はい" をクリックする。

- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ"が表示されます。

7 "Everio MediaBrowser 4"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

8 "完了"をクリックする

9 "終了"をクリックする

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが2つ表示されます。

10 パソコンから本機を取り外す(p. 31)

お知らせ

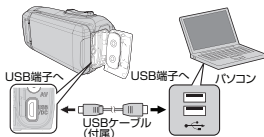
- Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 7 で[Web ユーザーガイド]をクリックしてください。
- Everio MediaBrowser 4 の操作方法は、Everio MediaBrowser 4 ツールバーの "ヘルプ"ー "MediaBrowser ヘルプ"をご覧ください。取扱説明書が表示されます。

付属ソフト(本機内蔵)をインストールする (Windows 7/Windows Vistaの場合)

本機の内蔵メモリー内の付属ソフトを使って、撮影した映像をカレンダー型式で表示したり、簡単な編集をすることができます。

1 端子カバーを開く

2 付属の USB ケーブルでパソコンに接続する

- ケーブルを接続する前に、液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。

3 液晶モニターを開いて本機の電源を入れる

■ ビデオカメラのタッチスクリーンでの操作

4 [パソコンと接続]をタッチする

5 [パソコンで見る]をタッチする

■ パソコン上での操作

6 以下の手順をパソコンで実行してください

① 自動再生画面で "フォルダを開いてファイルを表示"をクリックしたあとに、"install(または、install.exe)"をダブルクリックする。

② ユーザーアカウント制御画面で "はい" をクリックする。(Windows 7 の場合)

- Windows Vista の場合は、"許可" (続行)をクリックします。
- しばらくすると "ソフトウェアセットアップ"が表示されます。
- 表示されないときは、"コンピューター"または"マイコンピュータ"のなかの "JVCCAM_APP"内の "install(または、install.exe)"をダブルクリックします。

7 "Everio MediaBrowser 4"をクリックする

- 以後、画面の指示に従ってインストールしてください。

8 "完了"をクリックする

9 "終了"をクリックする

- インストールが完了し、デスクトップにアイコンが2つ表示されます。

10 パソコンから本機を取り外す (p. 31)

お知らせ

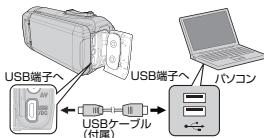
- Web ユーザーガイドをご覧になるには、インターネットに接続して手順 7 で[Web ユーザーガイド]をクリックしてください。
- Everio MediaBrowser 4 の操作方法は、Everio MediaBrowser 4 ツールバーの "ヘルプ"－ "MediaBrowser ヘルプ"をご覧ください。取扱説明書が表示されます。

すべてのファイルをバックアップする

バックアップする前に、パソコンの HDD に十分な空き容量があることを確認してください。空き容量が不足していると、バックアップを開始しません。

1 端子カバーを開く

2 付属の USB ケーブルでパソコンに接続する

- ケーブルを接続する前に、液晶モニターを閉じて本機の電源を切ってください。

3 液晶モニターを開いて本機の電源を入れる

■ ビデオカメラのタッチスクリーンでの操作

4 [パソコンと接続]をタッチする

5 [バックアップする]をタッチする

- パソコンで付属ソフト Everio MediaBrowser が立ち上がります。

■ パソコン上での操作

6 画像ファイルの保存元を選び、"次へ"をクリックする

7 バックアップを開始する

- ファイルの保存先を確認して[開始]をクリックします。

8 "完了しました"が表示されたら、"OK"をクリックする

9 パソコンから本機を取り外す

■ 本機をパソコンから取りはずすとき

（Windows 7/Windows 8/Windows 8.1 の場合）

① "ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す"をクリックする

② "JVCCAM～"をすべてクリックする

③ USB ケーブルをパソコンから取り外し、本機の画面を閉じる

お知らせ

- 付属ソフト Everio MediaBrowser の操作などで困ったときは、「ピクセラユーザーサポートセンター」へご相談ください。（p. 50）

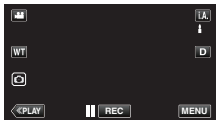
映像ファイルをSDカードにコピーする

動画や静止画は、内蔵メモリーからSDカードにコピーできます。
お店でプリント(現像)するときは、静止画をSDカードにコピーしておくと便利です。

お知らせ

- コピーする前に、十分な空き容量があることを確認してください。
- SDカードの動画や静止画は、内蔵メモリーへコピーすることはできません。

1 動画 または 静止画 をタッチして、動画または静止画を選ぶ

2 ≪PLAY をタッチして、再生モードにする

- タッチするたびに、撮影画面と再生画面に切り換わります。

3 [MENU]をタッチする

4 [編集]をタッチする

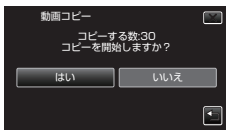
5 [コピー]をタッチする

6 コピーしたいファイル(映像)をタッチする

- タッチしたファイルに ✓ が表示されます。✓ 表示を消すには、ファイルを再度タッチします。
- [全選択]をタッチすると、すべてのファイルを選択します。
- [全解除]をタッチすると、すべてのファイルの選択を取り消します。

7 [決定]をタッチする

- どのファイルも選択されていないと、[決定]を選択できません。

8 [はい]をタッチする

- コピーが始まります。
- コピーが完了したら、[OK]をタッチしてください。

Wi-Fi機能を使う

スマートフォンと無線で接続して、次のようなことができます。
詳しくは Web ユーザーガイドやアプリケーションユーザーガイドをご覧ください。
- Wi-Fi 機能は水中では使用できません。

■ ダイレクト接続　(※)

スマートフォンと直接接続(Wi-Fi Direct 接続)して、ビデオカメラの映像をモニターできます。
モニター中は、動画撮影または静止画撮影が可能です。
また、スマートフォンを操作して、撮影中にお気に入りのシーンにマークをつけて後で探しやすくしたり、試合の得点を動画に記録できます。

■ アクセスポイント接続　(※)

アクセスポイントやインターネット経由でスマートフォンと接続してビデオカメラの映像をモニターできます。モニター中は、動画撮影または静止画撮影が可能です。

※ スマートフォン用アプリケーションのインストールが必要です。

スマートフォン用アプリケーションの動作環境

スマートフォン用アプリケーション「Everio sync. 2」を使用するには、以下の条件を満たしたスマートフォンまたはタブレット端末が必要です。

Android スマートフォン、タブレットの場合	Android 2.3 以上
iPhone/iPad などの iOS 端末の場合	iOS 5.1 以上

Google Play（Android スマートフォン、タブレット）、または AppStore（iPhone/iPad）から「Everio sync. 2」を検索して、ダウンロードしてください。（無料）

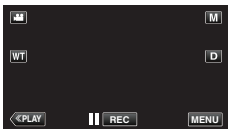
- すべての端末での動作を保証するものではありません。
- iPad で「Everio sync. 2」を検索するときは、iPhone 用のアプリケーションを検索してください。
- iPhone/iPad 用の「Everio sync. 2」は、iPhone/iPad を携帯電話のネットワークで接続している場合は利用できません。
  カメラやアクセスポイントに Wi-Fi で接続してからご利用ください。
- 位置情報記録の機能を使うためには、スマートフォンの GPS 機能をあらかじめ有効にしておく必要があります。

Wi-Fi 機能

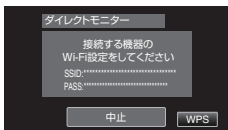
[Wi-Fi] メニューを開くには、動画または静止画撮影モードで [MENU] をタッチしてトップメニューを表示し、[Wi-Fi] をタッチします。

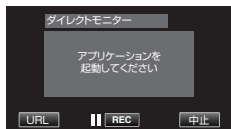
ダイレクト接続の使いかた

■ スマートフォンをビデオカメラに接続する

1 撮影モードのとき、[MENU]をタッチする(ビデオカメラの操作)

2 [Wi-Fi]をタッチする

3 [ダイレクト接続]をタッチする

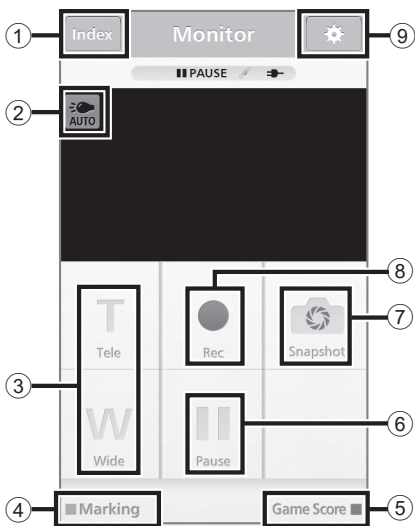
4 表示された設定情報をスマートフォンに入力する

- ビデオカメラの画面に表示された[SSID](ネットワーク名)および[PASS]をもとに、スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で必要な設定を行います。

5 接続が完了し、ビデオカメラに[アプリケーションを起動してください]と表示されたことを確認する

- 再度接続するときは、スマートフォンの Wi-Fi 機能を ON にすると自動的に接続されます。(パスワードを変更したり、スマートフォンで設定を消去した場合は接続をやり直してください。)

6 スマートフォン側で「Everio sync. 2」(p. 34)を起動し、[ダイレクトモニター]をタッチする

お知らせ

- WPS に対応している機器の場合は、手順 4 でビデオカメラの[WPS]ボタンをタッチしたあと、2 分以内に、スマートフォンの WPS を有効にすると接続できます。
- スマートフォンの接続のしかたやアプリケーションの起動のしかたは、お使いのスマートフォンの取扱説明書をご確認ください。

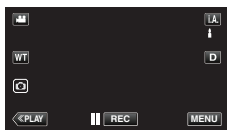
スマートフォン用アプリケーションの撮影画面

① インデックス
② ライト
③ ズーム
④ マーキング画面へ
⑤ ゲームスコア画面へ
⑥ 動画撮影停止
⑦ 静止画撮影
⑧ 動画撮影開始
⑨ 設定

お知らせ

- 詳細な操作方法や、ダイレクトモニター以外の機能については、Webユーザーガイドをご覧ください。

メニュー操作のしかた

メニューを使ってさまざまな設定ができます。

1 [MENU]をタッチする

2 トップメニューの希望するボタンをタッチする

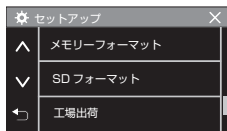
（撮影モードのとき）

- [**マナー**]：
  マナーモードに設定します。
- ⓘ[**インフォ**]：
  バッテリー残量と残量時間を表示します。

3 設定したい項目をタッチする

（アイコンタイプの画面）

- ＜および＞でスクロールします。

（リストタイプの画面）

- ∧ および ∨ でスクロールします。

■ **設定を終了するとき**

× をタッチする

■ **一つ前の画面に戻るとき**

⮌ をタッチする

準備する
撮影する
再生する
保存する
その他

設定メニュー一覧

動画/静止画・REC撮影

■ [Wi-Fi メニュー](p. 33)

- ダイレクト接続
- アクセスポイント接続
- Wi-Fi 設定

動画・REC撮影

■ [撮影設定メニュー]

M マニュアルモードの項目

- [フォーカス]:手動でピント合わせができます。
- [明るさ補正]:画面全体の明るさを補正します。(動画と静止画で別々に設定できます)
- [逆光補正]:逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
- [ホワイトバランス]:光源に合わせて、色合いを調節できます。
- [テレマクロ]:ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

i.A/M(インテリジェント・オート/マニュアル)共通の項目

- [タッチ優先AE/AF]:人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
- [ライト]:ライトの点灯/消灯を設定します。
- [手ぶれ補正]:動画撮影時の手ぶれを効果的に補正して撮影できます。
- [感度アップ]:暗いところで自動的に明るく調節します。(静止画とは別に設定できます)
- [ウィンドカット]:風の音を低減します。
- [タイムラプス撮影]:一定間隔に 1 コマずつ撮影して、長い時間かけてゆっくり移り変わるシーンを短時間で再生することができます。
  ([システムセレクト]が 60i のときに設定できます。)
- [ズームアップウィンドウ]:子画面に画面の一部分を拡大して記録します。
- [アニメ撮影]:アニメーション効果を加えて撮影できます。笑顔を検出したり、画面をタッチすることでさらにアニメーション効果が現れます。
- [顔デコ撮影]:人物の顔を検出すると、サングラスなどのデコレーションが現れます。
- [エフェクト撮影]:[ラフモノクローム][ベビー][料理]の設定から選べます。
- [日時表示記録]:動画に撮影日時を入れて記録できます。日時を表示させてディスクなどに保存したいときに設定します。(日時表示を消すことはできません。)
- [シャッターモード]:連写を設定できます。
- [スマイルショット]:笑顔を検出したら、動画撮影状態はそのままで、自動的に静止画を撮影します。
- [スマイル%/名前表示]:顔を検出したときに表示する内容を設定します。
- [シームレス撮影]:内蔵メモリーの空き容量がなくなったときに、記録メディアを切り換えて撮影を続けます。シームレス撮影ができないときは、が表示されます。
- [システムセレクト]:動画をプログレッシブ(60p)記録するかを設定します。
- [動画画質]:動画画質を設定します。
  ([システムセレクト]が 60i のときに設定できます。)
- [ズーム倍率]:ズームの最大倍率を設定します。
- [ズームマイク]:ズーム操作に合わせて、指向性のある音声を記録できます。
  "入"に設定したとき、ズームの広角(W)側の音量はズームの望遠(T)側に比べて小さくなります。

- [マイクレベル表示]:マイクレベルを表示するか設定します。
- [マイクレベル設定]:マイクレベルを設定します。
- [K2 テクノロジー]:デジタル信号処理による音質劣化を改善し、原音に近い音質で記録します。
- [画面ロック]:水中で撮影するときに、タッチパネルの画面をロックして操作ミスを防止します。

静止画・REC 撮影

■ [撮影設定メニュー]

M マニュアルモードの項目

- [フォーカス]:手動でピント合わせができます。
- [明るさ補正]:画面全体の明るさを補正します。(動画と静止画で別々に設定できます)
- [逆光補正]:逆光で被写体が暗くなるのを補正します。
- [ホワイトバランス]:光源に合わせて、色合いを調節できます。
- [テレマクロ]:ズームの望遠(T)側のときに接写できるようになります。

i.A/M(インテリジェント・オート/マニュアル)共通の項目

- [タッチ優先AE/AF]:人物の顔、またはタッチした部分の色やエリアに合わせて、フォーカスと明るさが自動的に調節されます。
- [ライト]:ライトの点灯/消灯を設定します。
- [セルフタイマー]:記念撮影するときに使います。
- [感度アップ]:暗いところで自動的に明るく調節します。(動画とは別に設定できます)
- [エフェクト撮影]:[ラフモノクローム][ベビー][料理]の設定から選べます。
- [シャッターモード]:連写を設定できます。
- [スマイルショット]:笑顔を検出したら、自動的に静止画を撮影します。
- [スマイル%/名前表示]:顔を検出したときに表示する内容を設定します。
- [静止画サイズ]:記録する静止画の大きさ(ピクセル数)を設定します。
- [画面ロック]:水中で撮影するときに、タッチパネルの画面をロックして操作ミスを防止します。

動画・PLAY 再生

■ [再生設定メニュー]

- [日時表示]:撮影した日時を表示します。
- [ダイジェスト再生]:撮影した動画のダイジェストを再生します。
- [特殊ファイル再生]:管理情報を修復した動画ファイルなどを再生します。

■ [編集メニュー]

- [プロテクト/解除]:誤消去防止のプロテクトを付けます。
- [コピー]:内蔵メモリーから SD カードにコピーします。
- [トリミング]:動画から必要な部分を抜き出し、新しい動画として保存します。
- [シームレス撮影管理]:シームレス撮影した別々のメディアに分かれているシーンの結合/解除をします。

静止画・PLAY 再生

■ [再生設定メニュー]

- [スライドショー効果]:スライドショーの切り換え効果を設定します。

■ [編集メニュー]

- [プロテクト/解除]:誤消去防止のプロテクトを付けます。
- [コピー]:内蔵メモリーから SD カードにコピーします。

動画/静止画共通

■ [セットアップメニュー]

- [スマートユーザーガイド]:スマートユーザーガイドにアクセスするための QR コードを表示します。
- [時計合わせ]:現在時刻を修正したり、海外で使うときに合わせ直します。
- [日付表示配列]:年月日の並び順と、時間表示(24h／12h)を設定します。
- [LANG.／言語]:メニューなどで表示する言語を設定します。日本語/英語/フランス語/スペイン語/ポルトガル語/中国語(簡体)/韓国語に対応しています。
- [顔登録(撮影時のみ)]:よく撮影する人物の顔を事前に登録します。
- [モニター明るさ]:画面の明るさを調整します。
- [操作音]:操作時に音を鳴らすか設定します。
- [オートパワーオフ]:電源の切り忘れ防止のため、5 分放置でバッテリー使用時は電源を切り、AC アダプター使用時は待機状態になります。
- [デモモード]:本機の機能のデモを再生できます。
- [タッチパネル調整]:タッチパネルボタンの反応位置を調整します。
- [動画記録メディア]:動画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。
- [静止画記録メディア]:静止画の保存先を内蔵メモリーまたは SD カードに設定します。
- [メモリーフォーマット]:内蔵メモリーのファイルをすべて消去(初期化)します。
- [SD フォーマット]:SD カードのファイルをすべて消去(初期化)します。
- [工場出荷]:すべての設定をお買い上げ時の設定に戻します。
- [ファームウェア更新]:本機の機能を最新版に更新できます。
- [オープンソースライセンス(撮影時のみ)]:本機で使用しているオープンソースソフトウェアのラインセンスを表示します。

■ [出力設定メニュー]

- [テレビ表示]:テレビで再生するときに、アイコンや日時の表示を入/切できます。
- [ビデオ出力]:接続するテレビに合わせた画面比(16:9 または 4:3)に設定します。
- [HDMI 出力]:テレビの HDMI 端子に接続するときに、本機の HDMI ミニ端子の出力を設定します。
- [HDMI 機器制御]:HDMI CEC 規格に対応するテレビと連動します。

- 詳しい設定内容については、Web ユーザーガイドをご覧ください。
- メニューの使いかたは、p. 37 をご覧ください。

撮影時間/枚数の目安

動画の撮影可能時間の目安

画質	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード					
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
UXP	5 時間 30 分	20 分	40 分	1 時間 20 分	2 時間 40 分	5 時間 40 分	11 時間 30 分
XP	7 時間 50 分	30 分	1 時間	1 時間 50 分	3 時間 50 分	8 時間 10 分	16 時間 20 分
EP	27 時間 40 分	1 時間 40 分	3 時間 30 分	7 時間	14 時間	28 時間 50 分	57 時間 50 分
60p	4 時間 50 分	15 分	35 分	1 時間 10 分	2 時間 30 分	5 時間	10 時間 10 分

- 撮影可能時間は目安のため、上記時間よりも増減することがあります。
- [ＵＸＰ]、[ＸＰ]、[ＳＰ]および[ＥＰ]は、60i モード([システムセレクト]が[６０ｉ])のときのみ設定できます。

静止画の撮影可能枚数の目安(単位:枚)

画像サイズ	内蔵メモリー	SDHC/SDXC カード				
	64 GB	4 GB	8 GB	16 GB	32 GB	64 GB
3680x2760 (10M) (4:3)	9999	600	1300	2500	5100	9999
1920x1080 (2M)(16:9)	9999	3100	6400	9999	9999	9999
1440x1080 (1.5M) (4:3)	9999	4200	8400	9999	9999	9999
640x480 (0.3M)(4:3)	9999	9999	9999	9999	9999	9999

- 動画撮影中に静止画を撮影したとき、および撮影済みの動画から静止画を切り出したときは、1920 x 1080 のサイズで保存されます。

内蔵バッテリーの持続時間の目安

実撮影時間	連続撮影時間(最大撮影時間)
2 時間 40 分	4 時間 50 分

- [ライト]が[切]、[モニター明るさ]が[３](標準)、[システムセレクト]が[６０ｉ]のときの値です。
- 実撮影時間は撮影、撮影停止、電源の入／切、ズーム動作などを繰り返した場合の撮影時間です。実際には、これよりも短くなることがあります。
- 撮影環境や使用方法によって、撮影時間は変化します。

困ったときは

困った時には修理を依頼する前に以下の手順でご確認ください。

1　以下の「こんなときは･･･」をご覧ください。

2　Web ユーザーガイドの「困ったときは」をご覧ください。

　使いかたで困ったときも Web ユーザーガイドに詳しい説明が記載されています。

　• http://manual3.jvckenwood.com/index.html/

3　ホームページで最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。

　• http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/index.html

4　本機はデジタル機器のため、静電気や妨害ノイズによりエラー表示や正常に動作しないことがあります。その場合は、以下の手順で本機をリセットしてください。

　① 液晶モニターを閉じて本機の電源を切る。

　② 全てのケーブルを取り外す。

　③ リセットボタン(p. 9)を押す。

　④ 液晶モニターを開いて本機の電源を入れる。

5　上記確認で解決しない場合や不具合がある場合は、お買い上げ店、または弊社カスタマーサポートセンター(p. 50)にお問い合わせください。

こんなときは…

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
電源	AC アダプターを接続しても電源が入らない	• バッテリー残量が少ないと電源が入りません。この場合 40 分以上充電してから電源を再度入れてください。	p. 13
撮影	撮影できない	• / ボタンを確認してください。 • 画面の 《REC ボタンをタッチして撮影モードにしてください。	p. 15 p. 16
	自動的に撮影が停止した	• 電源を切り、リセットボタン(p. 9)を押してしばらく経ってから電源を入れてください。(本機の温度が上がると、回路の保護のため自動的に停止します。) • 12 時間連続撮影すると撮影が停止します。	-
	インテリジェントオートで正しく撮影できない	• 複数の光源がある場所など、撮影状況によっては、インテリジェントオートで明るさやフォーカスが正しく調整できないことがあります。このようなときは、マニュアルで調整してください。	-
再生	音や映像が途切れる	• シーンとシーンのつなぎ部分で途切れることがありますが、故障ではありません。	-

こんなときは		ここを確かめてください	参照ページ
その他	充電中、ランプが点灯しない	• バッテリー残量を確認してください。(バッテリーが満充電されていると、ランプが点灯しません。) • 接続をお確かめの上、充電アダプターケーブルを抜き差ししてください。 • 低温や高温の環境では充電できません。室温10℃〜35℃の範囲内で充電してください。(範囲外の環境では、バッテリー保護のため充電を中止することがあります。) • プログレッシブ(60p)記録の動画撮影モードおよび Wi-Fi 機能使用時は充電できません。	p. 13
	CHARGE ランプと POWER/ACCESS ランプが点滅して操作できない	• 液晶モニターを閉じたあと、電源(AC アダプター)をいったん取りはずし、リセットボタン(p. 9)を押してから再度電源を入れてください。解決しない場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。	-
	本機が熱くなる	• 故障ではありません。(長時間使用すると、本機が多少熱くなることがあります。)	-

こんな表示がでたら…

こんな表示がでたら	ここを確かめてください	参照ページ
内蔵メモリーへ 記録できませんでした/カードへ記録できませんでした	• 本機の電源を入れ直してください。 • 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[セットアップ]メニューの[メモリーフォーマット]または[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)	p. 18
撮影データが少ないため 保存できません(撮影を続けますか？)	• タイムラプス撮影で、実記録時間の表示が「0:00:00:17」以下のときに撮影を停止すると、動画を保存できません。	-
内蔵メモリーエラー/カードエラー	• 本機の電源を入れ直してください。 • AC アダプターを取りはずし、リセットボタン(p. 9)を押してから SD カードを入れ直してください。 • SD カードの端子の汚れを取り除いてください。 • 上記の操作で解決しないときは、バックアップをとってから、[セットアップ]メニューの[メモリーフォーマット]または[SDフォーマット]を実行してください。(データはすべて消えます。)	p. 17 p. 18

使用上のご注意

●**精密機械ですので過度な振動･衝撃を与えないでください。**
液晶モニターが開いた状態での落下や、レンズ面への衝撃を避けてください。液晶モニターやレンズが破損する恐れがあります。また、記録や再生ができなくなる場合があります。

●**本機を直射日光や火などの過度な熱にさらさないでください。**
内部のバッテリーは、高温になると破裂することがあります。

●**本機をタオルや布などで覆って使用しないでください。**

●**撮影したデータはパソコンや他のメディアに保存してください。**
データが失われた際、弊社では一切の責任を負いかねますので、パソコンや他のメディア（BD、外付けHDDなど）に定期的に保存してください。3ヵ月に1回程度は保存することをおすすめします。

●**本機やパソコンの機能によるファイルの削除では本機の内蔵メモリーやSDカードのデータは完全には消去されません。本機を譲渡する際は本機の"メモリーフォーマット"および"工場出荷"を実行し、SDカードを譲渡する際は本機の"SDフォーマット"を実行、または市販のパソコン用データ消去ソフトを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、廃棄の際は物理的に破壊することをおすすめします。**
これらの作業はお客様の責任において行ってください。万が一、個人データが漏洩した場合、当社は一切の責任を負いかねます。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。　VCCI-B

電波について
本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています（受けた部品を使用しています）。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
　分解/改造すること
本機は2.4GHz帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意
本機の使用周波数帯（2.4GHz）では、電子レンジ等の産業･科学･医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、弊社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、弊社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

● 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4DS/OF4

2.4：2.4GHz帯を使用する無線機器です。
DS/OF：変調方式がDS-SS、OFDMであることを示します。
4：電波与干渉距離は40mです。
▭▭▭：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

著作権について

- 録画･撮影･録音したもの、付属のソフトウェアで編集したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。特に音楽CDをBGMとするムービーを編集する場合は、音楽CDの複製と同様の制限が生じますのでご注意ください。
- 鑑賞･興行･展示物など、個人として楽しむ目的でも撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づき、以下の用途にのみライセンスされています。
  1)消費者が個人的かつ非営利目的で、MPEG-4 AVC 規格に準拠する動画(以下、AVC Video)を記録する場合
  2)AVC Video(消費者が個人的に非営利目的で記録したもの、またはMPEG LA より ライセンスを取得したプロバイダが記録したもの)を再生する場合

  詳細にについては、MPEG LA, LLC.のホームページをご参照ください。
  http://www.mpegla.com

イラスト・画面表示について

本書に描かれているイラスト・画面表示は、わかりやすくするために誇張・省略があります。また、改良のため予告なく変更されることがあります。

本機の処分について

Li-ion

本機に内蔵されている充電池は、リサイクルできます。充電池の取りはずしはお客様自身では行わないでください。

本機を廃棄するときは、最寄りのサービス窓口にご相談ください。(p. 51)(有償)

液晶画面について

- 表面を強く押したり強い衝撃を与えないでください。傷がついたり、割れる場合があります。
- 市販の反射防止フィルムや保護フィルムなどをお使いになれます。ただし、フィルムの厚みなどによっては、タッチパネルがスムーズに動かない場合や、多少画面が暗くなる場合があります。

他社製品の登録商標と商標について

●AVCHD ProgressiveとAVCHD Progressiveロゴは、パナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●HDMI(High-Definition Muitimedia Interface) と HDMI HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACEは、HDMI Licensing. LLC の商標または登録商標です。●本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
●Dolby、ドルビーとダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。●SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
●Google™、Android™、YouTube™およびChrome™は、Google Inc.の商標および登録商標です。●Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。●Apple、Mac、Mac OS、OS X、iMovie、iPhoto、iPhone および Safariは、米国およびその他の国で登録された米国Apple,Inc.の商標です。●IntelおよびIntel Coreは、米国Intel Corporationの商標または登録商標です。●Wi-Fi、Wi-Fiロゴ、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi CERTIFIED、Wi-Fi Protected Setup、Wi-Fi Protected Setupロゴ、WPAおよびWPA2は、Wi-Fi Allianceの商標または登録商標です。●QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。●その他、記載している会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TMマークとⓇマークを明記していません。

仕様

電源

AC アダプター:DC 5.2 V

消費電力

2.3 W([ライト]が[切]、[モニター明るさ]が[3](標準)、[システムセレクト]が[60i]の場合)

定格消費電流:1A

外形寸法(mm)

60 x 59.5 x 122 (幅×高さ×奥行き:グリップベルトを含まず)

質量

約 292 g(本体のみ)

動作環境

許容動作温度:－10℃ 〜 40℃
許容保存温度:－20℃ 〜 50℃
許容充電温度:10℃ 〜 35℃
許容相対湿度:35 % 〜 80 %

映像素子

1/5.8 型 251 万画素
(裏面照射 CMOS)

撮像エリア(動画)

128 万〜229 万画素(手ぶれ補正:切)

撮像エリア(静止画)

229 万画素(16:9)
171 万画素(4:3)

レンズ

F1.8 〜 F6.3
f=2.9 mm 〜116 mm
35 mm カメラ換算:
動画
40.5 mm〜1620 mm(手ぶれ補正:切)
静止画
40.5 mm〜1620 mm(16:9)
49.5 mm〜1980 mm(4:3)

ズーム(動画)

光学ズーム:〜 40 倍
ダイナミックズーム:〜 60 倍
デジタルズーム:〜 200 倍

ズーム(静止画)

光学ズーム:〜 40 倍

動画記録方式

AVCHD 規格準拠
映像: AVC/H.264
音声:Dolby Digital (2ch)
記録画素数
1920 画素 x 1080 画素(1080i)
動画画質(1080i):UXP、XP、EP

静止画記録方式

JPEG 準拠
記録画素数
(16:9)1920 画素 x 1080 画素
(4:3) 3680 画素 x 2760 画素、
1440 画素 x 1080 画素、
640 画素 x 480 画素

記録メディア

内蔵メモリー（64GB）
SD/SDHC/SDXC カード（市販）

防水/防塵/耐衝撃/耐低温性能

防水性能

- JIS 防水保護等級 6 級(JIS IPX6)相当
- JIS 防水保護等級 8 級(JIS IPX8)相当（最大 5m/30 分間以内の使用に限る）

防塵性能

- JIS 防塵保護等級 5 級(JIS IP5X)相当

耐衝撃性能

- MIL-STD-810F Method 516.5 Shock 準拠
（1.5m の高さから液晶モニター面を内側にして閉じた状態で、3cm 厚の合板へ落下させる社内試験に合格）

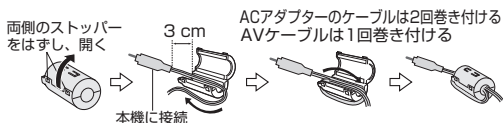
耐低温性能

- -10℃～40℃の温度範囲で使用可能
（-10℃～0℃では、一時的に内蔵バッテリーの性能が低下します。）

- 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書の内容は 2014 年 10 月現在のものです。内容は予告なく変更することがあります。最新の情報はホームページをご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/

■ フェラアイトコアの取り付けかた

AC アダプターのケーブルとＡＶコード（別売）（p. 21）（本機に接続する側）にフェライトコアを取り付けると、本機と外部機器を接続したときに発生するノイズを軽減できます。

- フェライトコア(小)は電源ケーブル用、フェライトコア(大)はＡＶコード用です。
- 付属のアダプターケーブルにはコアフィルターを取り付けないでください。

■ 製品についてお困りのことがありましたら・・・

ホームページ情報

製品に関するQ&A、メールによる問い合わせなどは
ビデオカメラサポート情報
http://www3.jvckenwood.com/dvmain/support/

付属ソフトEverio MediaBrowserのご相談

ピクセラユーザーサポートセンター

0120-727-231
（受付時間　10:00～18:00
・年末年始、祝日、休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。）

携帯電話でご利用の場合
0570-064-246

フリーダイヤル、ナビダイヤルがご利用できない場合
FAX 06-6633-2992 (24時間受付)

ホームページ http://www.pixela.co.jp/oem/jvc/mediabrowser/j/

取扱い方法などのご相談

JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

アフターサービスのご相談

お買い上げの販売店、またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87
2011年4月から名称および電話番号が変更になりました。

（月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
・日曜祝日、弊社休業日を除く
・電話番号および受付時間が変更になる場合があります。）

● 電話番号を良くお確かめの上、おかけ間違いのないようご注意ください。
● 携帯電話・PHS・一部のIP電話などからは ☎ 045-450-8950

ご相談窓口における個人情報のお取り扱い

株式会社JVCケンウッドおよびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

株式会社 JVCケンウッド
〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

日本ビクター、ケンウッド、J&Kカーエレクトロニクス、JVCケンウッドの4社は合併し、株式会社JVCケンウッドになりました。

保証とアフターサービス

修理を依頼される場合（持込修理）

「困ったときは」（P.42）にしたがって、まずはご確認ください。
ご確認後、なお異常があるときは、電源を切り、必ずAC アダプターを取りはずしてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容

1. 品名：ビデオカメラ
2. 型名：表紙参照
3. お買い上げ年・月・日
4. 故障の状況
5. ご住所・お名前・電話番号

■ 保証期間中は

保証書の規定にしたがって販売店にて修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。

性能部品の保有期間

当社は性能部品を製造打ち切り後、8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
なお、当社の判断で本体の交換や再生部品を使用させていただく場合があります。

次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。

（1）本書のご提示がない場合
（2）お買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が確認できない場合
（3）ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷
（4）お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷
（5）火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定以外の使用、電源（電圧・周波数）による故障および損傷
（6）不具合の原因が本製品以外（外部要因）による場合
（7）一般家庭用以外（例えば業務用等への長時間使用および車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷

サービス窓口

下記URLをご覧ください。
http://www3.jvckenwood.com/support/hrepair.html

免責事項

- 本機や付属品、SD カードの万一の不具合により、正常に録画や録音、再生ができない場合、内容の補償についてはご容赦ください。
- 商品の不具合によるものも含め、いったん消失した記録内容（データ）の修復などはできません。あらかじめご了承ください。
- 万一、データが消失してしまった場合でも、当社はその責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 品質向上を目的として、交換した不良の記録媒体を解析させていただく場合があります。そのため、返却できないことがあります。

ビデオカメラ保証書

持込修理

型名 GZ-RX500		製造番号

お客様	お名前	ふりがな　　　　様
	ご住所	□□□-□□□□　　電話（　　）　－

お買い上げ年月日	保証期間	お買い上げ日から
年　月　日		本体　1年間

お買い上げ店　住所・店名・電話

お客様へのお願い

- 本書にお買い上げ年月日、お買い上げ販売店名が押印されていない場合は、購入日の確認出来る書類（シールやレシート等）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
- 本書をご提示いただく場合は、お手数ですが、お買い上げ商品の製造番号(S/N番号：底面のラベルに印字されています)、お客様のお名前、ご住所の記入をお願い致します。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

保証の規定につきましては、裏面をご確認ください。

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって（株）JVCケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022　神奈川県横浜市神奈川区守屋町三丁目12番地

C5B 1114TOH-SW-VM